

平成 27 年度第 1 回（第 7 回）野洲市子育て支援会議結果報告

1.開催日時・開催場所

日時：平成 28 年 2 月 18 日（木） 午前 10 時～正午

場所：野洲市役所本館 3 階第 2 委員会室

2.出席委員

◆子育て支援会議委員

吉山 晋太郎委員（野洲市保育所保護者連絡協議会代表）、森 裕美子委員（野洲市 P T A 連絡協議会（幼稚園）代表）・高畑 智香子委員（野洲市 P T A 連絡協議会（小学校）代表）、窪田 明仁委員（野洲市 P T A 連絡協議会（小学校）代表）、原田 直樹委員（学童保育所連絡協議会代表）、山口 桂子委員（民間保育所代表）、水谷 威彦委員[○]（野洲市社会福祉協議会代表）、古橋 紗人子委員[○]（学識経験者）、苗村 正美委員（野洲市民生委員児童委員協議会代表）、増田 多美子委員^{*}（野洲市立小学校校長会代表）、安田 亮委員（事業者代表）

注) [○]：会長、[○]：副会長、^{*}：欠席

◆市側出席者

山仲市長、樋口健康福祉部政策監、三上こども課課長、田中こども課課長補佐・木虎こども課課長補佐・井狩こども課課長補佐、北脇こども課専門員

◆傍聴者 1 名

2. 会長及び副会長の選出

事務局への一任を受け、会長に古橋紗人子委員、副会長に水谷威彦委員をそれぞれ選出。

3.議事案件

(1) 野洲市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

事務局より、野洲市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、基本目標 1「子育てにやさしい環境づくり」の事業 No. 1 ～No.23 及びNo.25、基本目標 2「子どもの生きる力を育む環境づくり」の事業 No.10 並びに基本目標 3「すべての子どもが健やかに育つ環境づくり」の事業 No. 1、No. 3、No. 4、No.11 及びNo.13 等の概要説明。

◇委員からの主な意見・質問 ～要約～

(委員) 今回の進捗状況において、「達成度」で「A」評価は達成できたということであるが、そうしたなかでも、今後へ繋げていくためにも、「今後の方向性や課題」の欄に何らかの課題等をあげていくことが必要だと考える。今後検討願いたい。

(委員) 基本目標 1 の事業 No. 2 の「子育て短期支援事業」は、必要な事業であるとともに、セフティーネットである点も踏まえて、広く市民に知ってもらうことにより、安心を提供できるのではないかと。周知方法の検討を願いたい。

(委員) 基本目標 1 の事業 No. 6 の「病児・病後児保育事業」の体調不良児対応型は、現在 2 か所で実施されている。平成 28 年度には 3 か所と増えるが、今後、広めて

いく計画であるのか。

(事務局) 体調不良児対応型は、本来は全ての園で体制を整えておくべきものと考えている。従って、今後、関係各課と協議のうえ進めていきたいと考える。

4. 報告事項

(1) 平成 28 年度幼保こども園、こどもの家の入所(園)状況について

平成 28 年 1 月 31 日時点での平成 28 年度入所(園)の状況について説明。また保育園及びこども園での待機児童の状況及び学童保育所の利用者の増加について説明。

◇委員からの主な意見・質問 ～要約～

(委員) 保育所の待機児童発生要因の一つが保育士不足とのことであるが、保育士の不足数はどれくらいか。

(事務局) 児童の年齢や希望する園の規模や入所状況等により算定することは困難であるが、5 人程度確保できれば、資料記載の待機児童 9 名は解消できるものとする。

(委員) 子どもが減少するなか、子育て家庭訪問事業(1 歳児)の認知度が低いと感じる。周知方法等を検討する必要がある。

(2) その他(多子世帯の利用者負担額、野洲市保育人材バンクについて)

野洲市保育人材バンク並びに多子世帯及びひとり親世帯等の保育料(利用者負担)の軽減措置の拡充について、口頭による概要説明。

◇委員からの主な意見・質問

(委員) 保育料は大変重要なことであるので、後日、紙ベースで配布願いたい。

(事務局) 了解した。今回は国の制度について情報提供したもので、制度が正式に確定したら、改めて、お知らせしたいと考える。

5. その他

◇次回会議の予定について

次年度には、2 回の会議を予定している。年度当初に当該年度の計画に係る会議を、年度末に実績報告に係る会議を予定している。